



MITA Health Seminar

第22回健康セミナー

『 消化管がん（胃・食道・大腸）の 内視鏡診断・治療の最前線 ～早期発見・早期治療するために～ 』

日程：2013年 12月21日(土)

時間：14:00～15:30（受付：13:00～）

消化管のがんは、消化管閉塞をきたし人間の生きるための最も重要な『食べる』ことを阻害します。さらに進行すれば命に関わります。

しかし、消化管のがんを早期に診断・発見できれば侵襲の少ない内視鏡治療で対処が可能です。内視鏡の進歩はめざましく、十数年前には発見できなかった微小ながんを発見・診断できるようになりました。それだけでなく近年、内視鏡のがん治療の中心に位置する『内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)』の登場と進歩により、これまで外科切除を必要としていた早期がんも内視鏡切除が可能な時代となりました。

内視鏡治療の利点は、侵襲が少なく臓器温存が可能な為、術後も治療前と同じ生活を送れる事です。

それには早期発見が重要です。食道・胃・大腸のがんになりやすい人、それらのがんと生活習慣や体質の関係なども明らかになり、一般の方々にもそういった知識を持っていれば、消化管がんの早期発見・早期治療につながると思います。

場 所：国際医療福祉大学三田病院 11F 三田ホール

講 師：片岡 幹統 医師（国際医療福祉大学准教授）

東京医科大学卒、医学博士

日本消化器内視鏡学会認定指導医・消化器内視鏡専門医・関東支部

会評議員、日本消化管学会胃腸科認定医、日本消化器病学会専門医、

日本内科学会認定医、日本潰瘍学会学術評議員

定 員：250名

※どなたでも無料でご参加いただけます。当日参加も可能です。

※セミナー終了後、けんこう体操を行います（自由参加）。

■ 参加ご希望の方は、お電話でお申込みください。

TEL. 03-3451-8123（総務企画課）＊受付時間 月～土曜日 8:30～17:30



片岡 幹統 医師



国際医療福祉大学三田病院

〒108-8329 東京都港区三田 1-4-3 TEL. 03-3451-8123